

図書館からのお知らせ

☆ご不便をおかけしました

- ★図書館耐震工事のため、8月から書庫にある和雑誌・洋書の利用に制限がありましたが、10月10日より全て利用できるようになりました。
- ★3階プリンター故障の為、ご迷惑をおかけしておりました。新しいプリンターが入りましたのでご利用ください。

☆人間基礎論図書館ガイダンス

10月11日、人間基礎論第2回図書館ガイダンスを行いました。今回は初めて図書館への要望や感想等を出席票の裏に書いてもらいました。今後のサービスの参考にしたいと思います。

☆冬期休業中の長期貸出

期 間：平成 18年12月4日(月)～
返却日：平成 19年1月15日(月)
対象資料：図書のみ
*バストセラーも含む

☆冬期休館について

冬期休館は
平成18年12月27日(水)～平成19年1月4日(木)です。

- ★その他開館時間や休館日については、図書館ホームページや掲示板をチェックしてください。



中学生が企業や公的施設に赴いて、実際の職場を体験する文部科学省のキャリア教育推進事業「キャリア・スタート・ウィーク」が実施され、10/16～10/20 までの5日間、仙台市立吉成中学校から、松村くん、村上くん、飯田くんの3名が図書館に職場体験に訪れました。5日間の職場体験について、松村くんと村上くんに感想を聞いてみました。

1週間の仕事を終えて

僕は1週間の仕事を終えて思ったことが2つあります。1つ目は、仕事の大変さです。どんな仕事でもとても大変で、とても疲れることもありました。ですが、その中でも思ったことがあります。それは、その中にある喜びです。仕事を達成すると喜びがでできます。他にも仕事を達成して褒められたりする喜びもあります。僕はこの2つを学びました。

この職場で学んだことを一生の思い出にし、将来に向けてがんばっていきたいです。

5日間の職場体験を終えて

5日間のキャリアスタートウィークを終えて、学んだことがあります。

1つ目は、図書館のことについてです。小学生の頃にはまったく興味をもっていなかった図書館の仕事は、カウンターはもちろん、本の発注など、とても大変でした。

2つ目は、社会でのマナーです。上司などから言われたことは細かくメモするなど教えてもらいました。これらを今後につなげていきたいと思っています。

編集後記

今回は、高橋美由紀先生に御協力いただきました。ありがとうございました。先生の学生時代から今日までの歩みを、少しながら感じとることができました。また、「神宮文庫」について参考までに情報を入れてみました。

この『としょかんぼう』も発行から早いもので2年が経ちました。今号は、インターネット端末の利用方法やDVDの利用統計なども掲載しました。次号では、図書館サービス第1弾をお届けします。ご期待下さい。

◀ 石川・稲妻・熊谷 ▶

東北福祉大学図書館報「としょかんぼう」No. 4 2006年12月

編集・発行 東北福祉大学図書館 〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1

TEL:022-717-3319 FAX:022-717-3309

E-mail:lib@tfu-mail.tfu.ac.jp

http://www.tfu.ac.jp/libr/tful.html

としょかんぽう

東北福祉大学図書館報

Tohoku Fukushi University Library News

No.4

TFUL News
2006. Dec.

人生を左右した図書館との出会い

社会教育学科長 高橋 美由紀

私が学生時代を送った皇学館大学のキャンパス近くの森の中に「神宮文庫」という江戸時代以来の歴史を有し数多くの貴重な古典籍を所蔵する図書館があった。当時、開学まもないこの大学では神宮文庫の一部を間借りして大学図書館としていた。したがって、大学の図書館を利用するということは神宮文庫に足を踏み入れることでもあった。校舎から少し離れていたためか閲覧室を利用する学生は少なく、一般の利用者もほとんどいない。利用者は、神宮文庫所蔵の貴重書を閲覧するために訪れる研究者が中心だった。

一人の老学者の姿が今も脳裏に鮮明に浮かんでくる。ある日、大学の図書を借り出して閲覧室に入ったところ、一人の小柄な老人が古い和綴本を前に一心に書き写している姿が目飛びこんできた。手元には大きなマス目状の罫線が入った用紙があり、その一マス一マスに和書の一文字一文字を書き写しているのである。後に研究者の道に入ってから分かるのだが、彼は古典の校合、つまり現存する写本類の一字一字を比較対校して原本を復元するという古典研究の基礎的な作業を行っていたのである。その当時はまだその老人が行っている気の遠くなりそうな作業の意味を理解することはできなか

ったが、その真剣な眼差しと他人を寄せつけないような雰囲気は、学問の厳しさを感じさせるとともに、若い私の心に学問への素朴なあのこがれのようなものを植えつけたのであった。

こんなこともあって、その後私は足繁く神宮文庫に通うようになった。そして、時には神宮文庫のカードをめくり、和綴の古い写本などをおそるおそる借り出して閲覧する、というよりは触れてみる、という冒険をもするようになったのである。こうして次第次第に古典研究の世界を身近なものとして感じるようになった私は、昭和四五年春、大学卒業と同時に、研究者への道を志して東北大学の大学院に進むことになる。

神宮文庫、それは研究者としての私の「ゆりかご」であった。

神宮文庫とは？

神宮文庫は、三重県伊勢市にある(伊勢)神宮の文化施設のひとつです。

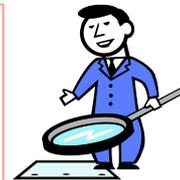
古来、内宮・外宮の域内には文殿や神庫という記録文書を納める施設があり、古儀を重んじる神主の調査研究に利用されていました。

江戸時代に入り、慶安元年(1648)に豊宮崎文庫が創設されました。また、貞享3年(1686)には、内宮文庫が立てられましたが、元禄3年(1690)に内宮近くの林崎の地に移され、林崎文庫と改称されました。両文庫は、図書館であると共に神職子弟の教育機関でもありました。

やがて、明治4年(1871)の神宮改正にともない、両文庫をはじめ文殿・神庫等の蔵書を合わせて設立されたのが神宮文庫です。

神宮文庫は、神宮関係の古文書を中心に、神祇・哲学・宗教・文学・語学・教育・伝記・歴史・法制及儀式・地誌及紀行・医学・数学・理学・工学・美術・産業に関する和古書をはじめ、国宝、重文等の貴重資料を数多く収蔵しています。

≪ 伊勢神宮ホームページより引用 ≫



司書のフロムナード

今回は、ベストセラーコーナーから1冊の本を紹介します。

この小説は、愛や勇気、感動を私たち読者に与えてくれる小説です。主人公であるジョン・ハーディングは、妻と子どもを交通事故で亡くし、幸せな生活が一変。絶望の時期に、リトルリーグの監督の話を受けます。最初は乗り気ではなかったジョンは、ティモシー・ノーブルという少年に出会い、徐々に妻と子どもを亡くした悲しみから元気を取り戻します。ティモシーは、すごく小さな体で野球を一生懸命頑張りますが、うまくいきません。でも、彼は決して諦めません。しかし、ティモシーの体に異変が……。リトルリーグ『エンジェルス』とジョン、そしてティモシーの行末は……。!?

作者のオグ・マンディーノは、この小説を通し、どんな人生もあらゆる可能性があり、一生懸命に生きる大切さをメッセージに託したのかも知れません。ぜひ、一読を!!

(雑誌担当：五十嵐 智子)



オグ・マンディーノ著
『十二番目の天使』
求龍堂, 2001.4
¥1,260 (税込)

所在：ベストセラーコーナー



図書館利用シリーズ 4

図書館 Q & A ④

Q： 図書館のインターネット端末を使いたいのですが、利用方法を教えてください。

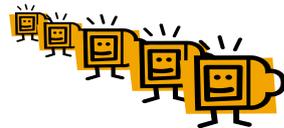
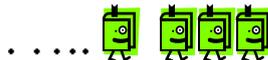
A： 図書館には13台のインターネット用端末があります。利用するには、申込が必要となります。3F カウンターに置いてある黄色い用紙の「PC使用票」に必要事項を記入し、学生証を添えてカウンターに申し出てください。最長1時間利用することができます。

Q： 印刷することはできますか？

A： 3F カウンター脇の3台のPCでのみ、印刷することができます。印刷を希望する場合は、申込時このカウンターに申し出てください。なお、図書館では印刷用紙の準備・販売はしていませんので、A4サイズの未使用の用紙を各自持参してください。使用済み用紙、ルーズリーフ等は使用できません。

Q： 図書館のPCで作成した文書を保存することはできますか？

A： 文書保存媒体は、FD、USBメモリのみとなります。CD-Rは再生のみ、CD-RWは使用できませんので注意してください。



貸出(利用)の多い資料



学関本・書庫本

1. ニッポン貧困最前線 / 久田恵著/文藝春秋/1994
1. 社会福祉法人・福祉施設のための実践・リスクマネジメント / 平田厚著/全国社会福祉協議会/2002
3. いなみ野学園 / 福智盛著/ミネルヴァ書房/1990
3. 熟年は燃える / 福智盛著/ミネルヴァ書房/1981
3. クシュラの奇跡 / ドロシー・パトラ著/百々佑利子訳/のら書店/1984
3. 老いて学ぶ老いて拓く / 三浦文夫編著/ミネルヴァ書房/1996

ベストセラー

1. イルカ / よしもとばなな著/文藝春秋/2006
2. 東京タワー / リリー・フランキー著/扶桑社/2005
3. 天使の梯子 / 村山由佳著/集英社/2004
3. 彼氏彼女に言われた悲しいセリフ / スマイル編著/扶桑社/2005
3. 陰日向に咲く / 劇団ひとり著/幻冬舎/2006
3. ハリー・ポッターと謎のプリンス / J.K.ローリング作/松岡祐子訳/静山社/2006

DVD

1. パイレーツ・オブ・カリビアン / コア・ヴァーヒンスキー監督
2. パール・ハーバー / マイケル・ベイ監督
2. ファインディング・ニモ / アンドリュー・スタントン監督

平成18年9、10月統計

図書館日記♪

一学期での1コーナー

返却ボックスに返された本の回収と返却処理は9:00、10:30、13:30、15:30、17:00に学生バイトさんがしてくれます。雨の日も、風の日も。いつもありがとう。

ピッ、ピッ、ピッ、隣のパソコンから一定のリズムで返却処理の音が聞こえてきます。ピッ、ピッ、……「ん?? 他の図書館の本入ってましたー!」ーこんなことが年に数回あります。

私はILL担当です。みなさんが申し込んだ文献複写や現物貸借を、所蔵館を探して依頼をしています。日本にないものはアメリカの大学図書館やイギリスの図書館から送ってもらうこともあります。逆に、福祉大の資料を借りたい、複写してほしいという依頼は年3000件を超えます。韓国やアメリカからも来るんですよ。なかなかスゴイと思いませんか?図書館はお互いに協力しあっています。世界中の図書館はつながっているのです。私たちの図書館もその役割を大きく果たしています。すばらしいことですよ。

本題に戻ります。図書館はつながっていると言いましたが、残念ながら返却ボックスはつながってはいません。“どこでもドア”のような返却ボックスがあったら便利ですけどね。市民図書館の本は市民図書館へ。返却ボックスに入れる際は他の本が紛れていないか確認してくださいね。

